

## 青森県における新生児医療の現状

(分担研究：地域周産期医療システムの評価に関する研究)

分担研究者 千葉 力

### I 目的

青森県における新生児医療の現状を知るために、1) 新生児死亡率の変化、2) 新生児医療施設(地理的分布、設備、医師数、活動)、3) 新生児搬送(受入状況、搬送手段)、4) 新生児死亡数の施設分布(産科施設を含む)、5) 出生数の施設分布、などを調査した。

### II 調査

- 1) 方法：a) 青森県衛生統計年報 b) アンケート調査
- 2) 期間：1年間(1990.1～1990.12)
- 3) 対象：a) 小児科医と産科医とがともに常勤している県内の18病院の全病院 b) 県内の産科で病院と診療所を合わせて89施設

### III 結果

- 1) 新生児死亡率の変化(図1)：全国平均と青森県内の旧3市(青森、八戸、弘前)とを比較した。青森県の新生児死亡率は改善してはいるけれども、全国的には常に最悪グループに属している。1989年は青森県は全国で最悪であった。
- 2) 新生児医療施設：小児科医と産科医とがともに常勤している青森県内の18病院について、小児科医師数をみると、1名が4施設、2名が

6施設、3名が4施設、4名が0で、5名以上が4施設である。このうち3次の新生児医療施設としては、小児科医師数が5名以上の4施設中の3施設のみである。

以下に、この3次の3施設についてみると、地理的には、青森2、八戸1、弘前0である。設備はいずれも人工呼吸器4台以上である。出生体重2,000g未満児の年間入院数はいずれも20例以上である。院外出生例の受け入れはいずれも年間30例以上である。院内の年間分娩数はいずれも599例以上である。新生児搬送は、救急隊の救急車で院外へ出向いているのは1施設のみであり、他の2施設では依頼側の施設が搬送している。

3) 産科での新生児死亡数は県全体では19%になる。

3次の新生児医療施設の3施設での新生児死亡数は県全体では48%である。

4) 小児科医が常勤している病院での出生数は県全体では60%である。

### IV 結論

新生児医療施設のレベルによって適切な母体搬送の受け入れを大前提として、さらに新生児搬送の受け入れについても、地域における円滑な体制を作る必要がある。

新生児死亡率

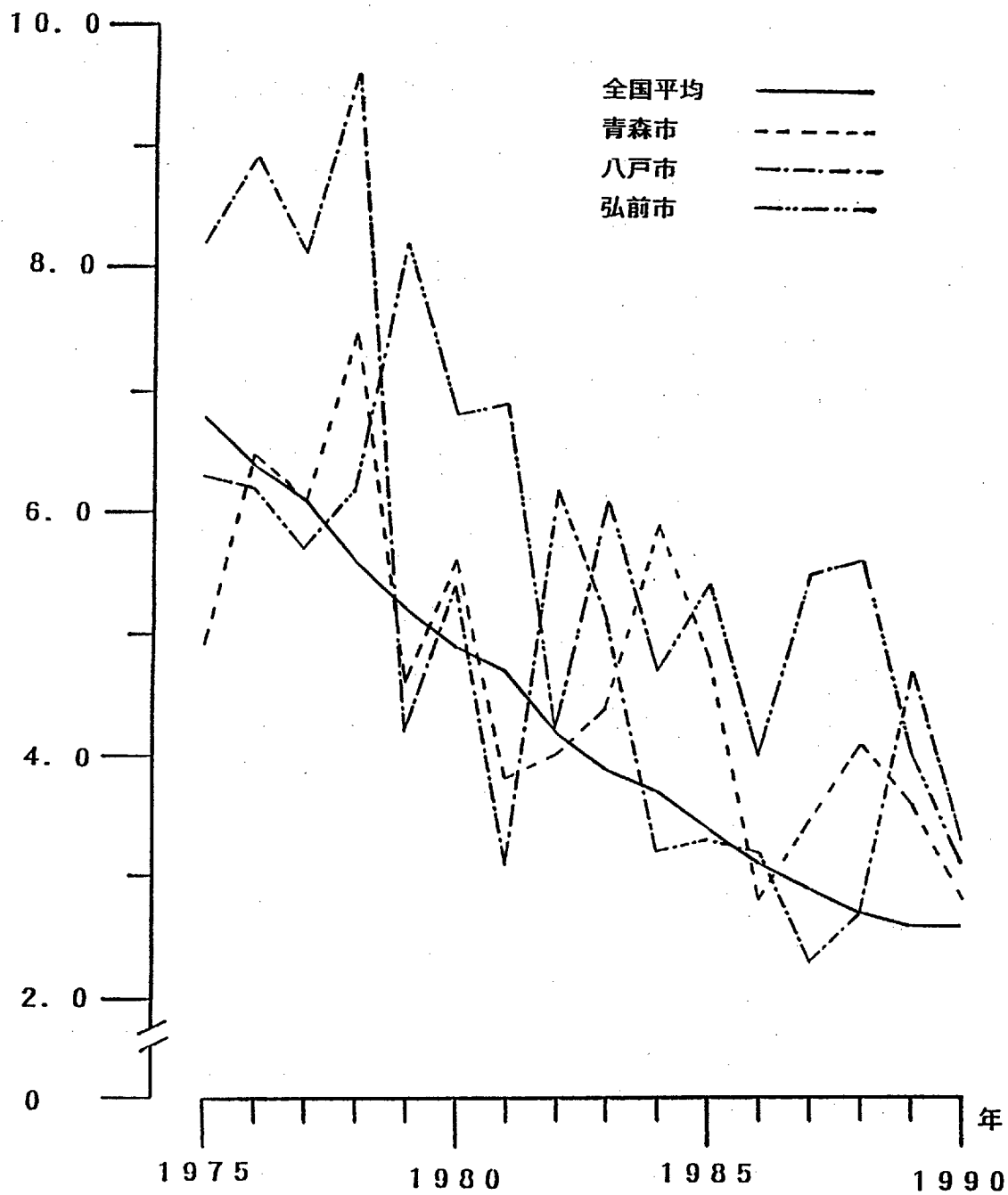


図1 青森県の新生児死亡率の変化

表1 出生数と新生児死亡数

地 区	出 生 数	県全体の割合 (%)	新生児死亡数	県全体の割合 (%)
青 森	2, 830	19. 3	8	16. 7
八 戸	2, 712	18. 5	9	18. 8
弘 前	1, 593	10. 9	5	10. 4
他	7, 500	51. 2	26	54. 2
計	14, 635	99. 9	48	100. 1

表2 出生体重別の出生数

出 生 体 重 (g)	出 生 数
< 500	1
500 ≤ < 1, 000	26
1, 000 ≤ < 1, 500	46
1, 500 ≤ < 2, 000	120
2, 000 ≤ < 2, 500	643
2, 500 ≤	13, 799
計	14, 635

表3 出生体重2,000g未満児

地 区	出生数	小児科 入院数	居 住 地			産科管理	産 科 施 設	
			各市内	県内	県外		病 院	診 療 所
青 森	48	56	41	14	1	0	0	0
八 戸	38	69	28	31	10	3	0	3
弘 前	19	32	14	16	2	3	2	1
他	88	10			3	2	2	0
計	193	167			16	8	4	4

産科管理 8例(生存例)  
出生体重：全例 1,500 ~ 1,999 g

表4 新生児死亡例

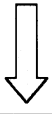
地 区	死 亡 数	小 児 科 での死亡	産 科 での死亡	産科での死亡施設	
				病 院	診 療 所
青 森	8	13	0	0	0
八 戸	9	12	4	3	1
弘 前	5	10	5	4	1
他	26	3	0	0	0
計	48	38	9	7	2

産科での死亡9例の出生体重

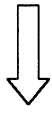
1,000 ~ 1,499 g	2 例
1,500 ~ 1,999 g	1
2,000 ~ 2,499 g	1
2,500 ~	5

致死的先天異常例数 (分子)

小 児 科	14 / 38
産 科	5 / 9



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 目的

青森県における新生児医療の現状を知るために、1)新生児死亡率の変化、2)新生児医療施設(地理的分布、設備、医師数、活動)、3)新生児搬送(受入状況、搬送手段)、4)新生児死亡数の施設分布(産科施設を含む)、5)出生数の施設分布、などを調査した。